



その先の、道へ。北海道 Hokkaido. Expanding Horizons.

## まっかしどう

August 2022 令和4年7月発行 通巻246号





## みんなで支えよう! 子どもの未来づくり

推進するのが、北海道教育庁が進める を行い、レトルトカレー「カレーでナイト」が ぶりと使われています。 レーで、豆は光黒大豆、肉は町内産の豚肉がたっ しい夜空をイメージして作った黒いキーマカ 2021年に完成しました。生徒が本別町の美 た商品開発グループが地元農協と共同開発 を進めています。地域の特産品をテーマとし かち創生学」の中で、地域と連携した探究活動 こうした学校と地域が一緒に取り組む活動 地学協働 本別高等学校では、総合的な探究の時間「と

はじめ、各地の道立学校でさまざまな 多様な人と関わりながら学んだり、新 を考えることを目指すもので、同校を することを通して、自分や地域の未来 しい発想でプロジェクトを始動したり 北海道CLASSプロジェクト」。 このプロジェクトは、生徒が地域の

活動が展開されています。

## 生徒の声

普通の生活では触れることの ない活動。本別高校だからできた ことで、自分自身の力になりまし



本別高等学校の皆さん

**INDEX** 

北海道本別高等学校(本別町



レトルトカレ 「カレーでナイト」

## 「北海道CLASSプロジェクト

町立計根別学園です。 制とし、それぞれの区切りにきめ細かく学習目 標を設定することにより、校訓に掲げる「夢を す。その一つが、2016年に開校した中標津 ぞれが地域に根ざした教育に取り組んでいま て行う「義務教育学校」は道内に19校あり、それ 同校では、小中学校の9年間を4・3・2年 小学校から中学校までの義務教育を一貫し

家庭学習をサポートする専用ノートで日常の 習や食育などにも積極的に取り組んでいます。 進学時に起きやすいとされる「中1ギャップ」の 2年間、担任となることにより、一般の中学校 でいます。また、同じ教員が6学年と7学年の 紡ぐ」を段階的に実現するカリキュラムを組ん アドバイスを行っています。 全教員が6~8年生の3人程度を受け持ち 上を支援するため、家庭学習の担任制を実践 抑制にも対応しています。 さらに、効果的な家庭学習を通じて学力向 このほか、地元の農業高校と連携した地域学 児童生徒の声



中標津町立計根別学園の地域学習



中標津町立計根別学園(中標津町



■新型コロナウイルス感染症対策 ■アドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS) ■観光船の安全に対する取り組み

■赤れんがニュース ■みんなで冬季オリンピック・パラリンピックを北海道・札幌に ■おいしい道産品プレゼント



知るほど! 北海道広報番組「知るほど! なるほど! 北海道」

アイデアで勝負! 北海道のチャレンジ企業

























